

# よかよかだより

## 地域とつながるボランティア活動

### 安心・安全のためにご加入を ボランティア活動保険

広川町ボランティア活動センターでは、皆さまが安心・安全にボランティア活動できるよう、「ボランティア活動保険」の加入をすすめています。

この保険は、ボランティア活動中のケガや活動先での物損、往復途上の事故、食中毒や熱中症などを補償するものです。加入は当センターで受け付けています。

今活動している人はもちろん、活動しようと考えている人も、ぜひお気軽にご相談ください。

### エコキャップとプルトップを 商工会青年部へ

当センターは地域の皆さまから、エコキャップとプルトップを回収しています。回収したエコキャップとプルトップは、商工会青年部が取り組む被災地支援（災害義援金）や、地域の福祉支援（車

椅子の寄贈など）に役立てられています。12月25日(木)、集めたエコキャップとプルトップ計11袋を、商工会青年部に手渡しました。

回収には、地域の皆さまや(株)ロキテクノ、赤坂園、陽だまりの里など多数の皆さまにご協力いただきました。今後とも、皆さまのご協力をお願いします。



赤坂園の皆さん



陽だまりの里の皆さん

圃ボランティア活動センター

「よかよか」（はなやぎの里2階、平日8時30分～17時15分）

☎ 0943・327073

FAX 0943・327074

### ボランティア団体紹介

## 日向ひよつとこ踊りちっこ愛好会

平成22年に設立した「日向ひよつとこ踊りちっこ愛好会」。6歳から88歳までのメンバー60人で、毎週1回、久留米市・八女市・柳川市・大川市の施設で練習しています。

日舞など、ひよつとこ踊り以外のさまざまな踊りを混ぜて活動しており、最近「牛深ハイヤ節」も練習しています。本場宮崎県日向市の講習会にも年2回参加し、技術向上に努めています。

イベント出演は年120回ほど。訪問先は広川町内や近隣市町村などで、東京都のイベントに出演したこともあります。今年は葬儀内での出演依頼があり、メンバーで「どのように踊ろうか」と考えながら披露した踊りは、参列した皆さんに喜んでもらうことができました。

踊れば踊るほど難しくなるひよつとこ踊りで

すが、健康を目指してみんなで楽しく練習しています。私たちの踊りで一人でも多くの人に喜んでもらいたいと考えていますので、出演依頼などお気軽にお声かけください。お待ちしております。

代表 諸富一光 (☎ 090-4991-4761)



心をつなぐひろか和の集い

# 人権コンサート「歌が繋ぐ命の物語」

問 教育委員会事務局人権・同和教育係 ☎ 0943-32-0093

12月14日(土)、広川町保健・福祉センター「はなやぎの里」で、野田かつひこさんによる人権コンサート「歌が繋ぐ命の物語」が行われました。披露された歌と語りをご紹介します。

## 1 夕焼けメロディ

日本には命日から1年、3年、7年と、節目ごとに亡くなった人をしのび、死後の冥福を祈る「年忌法要」という風習があります。病にかかってもいつもみんなに優しく、僕をおんぶしてくれたおばあちゃん。亡くなったおばあちゃんとの、懐かしい思い出を歌った曲です。

## 2 有明ユンヌ

120年前、飢きんに見舞われたユンヌ(現在の与論島)の人々は、三池炭鉱で働くため、福岡県大牟田市へ集団移住しました。しかしそこで待ち受けていたのは、過酷な労働と厳しい差別。つらい暮らしの中でも、助け合いながら頑張っ

て生きたユンヌの人々の思いを歌にしました。

## 3 ふしぎ

重症無筋症という難病を抱えながらも、懸命に生きている女性と出会い、生まれた曲です。「私と同じように病と闘っている人に勇気を与えたい」という思いから、女性自らが作詞を担当しました。僕ら「命のコンサート」を始めるきっかけになった曲でもあります。

## 4 一輪の花

生後3日で天国へと旅立った赤ちゃんのご両親と出会い、生まれた曲です。「一緒に過ごした時間はわずかでしたが、大切な宝物です。またいつか会えると信じています」というご両親の思いを歌にしました。

## 5 居場所

なくならない仲間外しやいじめの問題。誰かに自分の思いを伝えたいけれど声を上げることができない。心の中で

は気づいてほしいと叫んでいる。そんな子どもたちがたくさんいます。

「なぜ人は、人の下に人をつくるのだろう。誰もが幸せに生きられる世界ができればいいのに」。そんな思いを込めた曲です。

## 6 ルーツ

先祖を10代さかのぼると1024人、20代さかのぼると100万人以上になります。ご先祖さまがあって今の自分がある。わが子がかわいいように、先祖も子孫には幸せになつてほしいと願っていたはずです。時々、誰かが自分の道を示してくれているように感じますが、これもご先祖さまからのメッセージかもしれません。そんなご先祖さまについて歌いました。

### 参加者の声

人と人とのつながりの大切さを考えさせられました。いろんな人々の思いが感じられて、心にしみるコンサートでした。  
(50代女性)



### 野田かつひこ

福岡県久留米市出身。福祉関係の仕事に携わったのち、1996年にミュージシャンとしてデビューした。韓国や中国など国外にも活躍の場を広げ、2004年には難病と闘うファンとの出会いから、命のコンサート「さまざまな命の物語」を開催。離島やへき地、閉校間近の学校などで暮らす人々の思いを歌にしており、その活動を追ったドキュメンタリー番組は「報道部門番組全国最優秀賞」を受賞した。